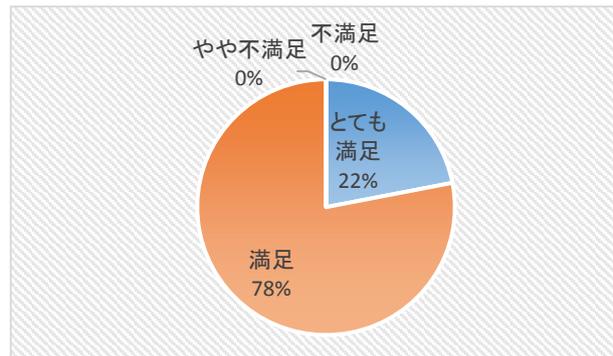


つくばケアマネジャー連絡会 アンケート集計結果

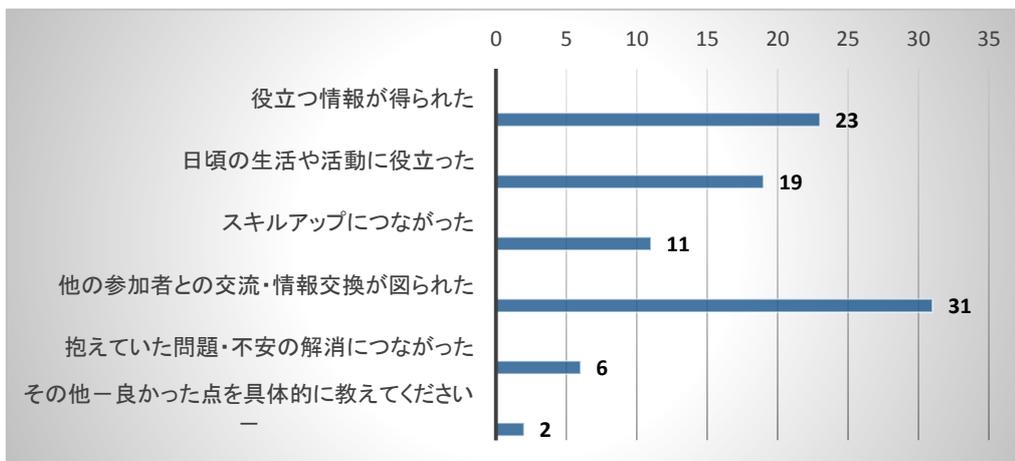
1. 今日の内容全般について、ご満足いただけましたか。(4択)

項目	人数
とても満足	9
満足	32
やや不満足	0
不満足	0



2. (1で「とても満足」「満足」を選んだ方)どのような点が良かったですか。(複数回答可)

項目	人数
役立つ情報が得られた	23
日頃の生活や活動に役立った	19
スキルアップにつながった	11
他の参加者との交流・情報交換が図られた	31
抱えていた問題・不安の解消につながった	6
その他ー良かった点を具体的に教えてくださいー	2



具体的な意見等

自分のこと、家族のことと捉えて考えることができた。
色々な意見が聞け、自分のこり固まった看取り感が「経過が大切」「どうしてそういった考えに至ったのか」が重要で経過が大切。結果だけでは無いという事。
他事業所のケアマネジャーの方より意見や事例をお聴き出来たことがよかったです。
エンドオブライフケアについて改めて考えた。同じ悩みがあるんだなあと安心した。
グループワークで他職種との意見交換ができてよかった。
先輩CMに相談していけると確認がとれた。結構自分だけで頑張っていた感あり。
医療との連携について他のCMと同じ悩み・感覚を持っていると安心した。
他の事業所のグリーフケア対応について聞ける機会となり参考になった。
他の参加者の方へ意見を聞く事ができた。
参加した方の意見がいろいろざっばらんに聞けた。
特養でケアマネをしています。当施設でも今年の4月～看取りケアを試行始めたところです。一事例ごと振り返りを行いながら、看取りケアを築いていこうとしている中で、事例発表を聞いたり、グループワーク・講師の方よりヒントや気付きを与えて頂きました。施設での看取りについても事例があり、非常にありがたかったです。

看取りで関わるケースもあり、自分の関り方、ケアマネジャーとしての支援について改めて考える機会となりました。がんの場合には、短い期間での支援になることも多いので、本人の意向、家族の意向を把握して、寄り添った支援ができるように心掛けていきたいと思います。CM1人では難しいので、関わるスタッフ、DrやNsとも協力しながら対応していきたいからです。
現場での医療関係者との連携で困っている事などがわかりました。
多職種で関わっていくことが大事である。グループで話し合いができ、学ぶこともでき、今回とても楽しかったで
看取りに対する問題意識が同じであったことにホッとした。
他職種との連携の大切さ。
個別化による様々な適切な対応が必要とされる。
表現の仕方の難しさ
専門用語は家族によっては冷たく感じる
基礎職種が異なるケアマネジャーが色々な困難を抱えながら看取りの方を支援している気持ちを共有したり、会話できて良かったです。
介護職・CM側では医療職とのADL評価にズレがあることを日々感じていたが、医療職側ではズレの認識がなかったことがわかりました。認識のズレがある事が知れたことは良かったと思います。又、他のCMさん達も同じ認識で仕事をしているんだという心強さが得られました。
グループワークでお互い抱える問題点、抱える時に大切にしている思いを共有でき、これからの利用者、家族との関わり方を学ぶことができた。
他のCMさんが抱えている体験や悩みを知ることができた。このような機会はなかなかないので、よい時間だと思います。CM同士の情報交換の機会は意外に少ないんです。
他職種との連携や進め方について情報を得る事が出来た。

4. ご希望、疑問点などありましたら、ご自由にお書きください。

自由な意見交換の時間がもっとほしかった。病院で終わるのでなく、家に終焉を向かえる事が普通になる。啓蒙 有効な情報共有について。
身寄りない方の対応について相談させて頂けたら幸いです。
ケアマネジメントの実際
講義資料を頂きました。
グループワークの回数を増やしてほしいです。
グループワークでは活発な意見交換ができました。先生のお話が早かったので、せめて資料をいただけると嬉しかったです。
ロールプレーなどインテークの方法、確認すべきことなど具体的な研修があるとよいと思いました。
自センターでできることは何か。元気なうちからエンドオブライフ、ACPIについての啓発は必要かと。出前講座等での内容として一案で考えようかと思った。